

Timeless Art Deco with *Van Cleef & Arpels* High Jewelry



永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ & アーペル — ハイジュエリーが語るアール・デコ

2025.9.27|土| — 2026.1.18|日| 東京都庭園美術館

開館時間：10:00–18:00（入館は閉館の30分前まで） 休館日：毎週月曜日および年末年始（12月28日–1月4日）

※11月21日（金）、22日（土）、28日（金）、29日（土）、12月5日（金）、6日（土）は夜間開館のため20:00まで開館（入館は閉館の30分前まで）

※祝日の月曜日（10月13日、11月3日・24日、1月12日）は開館、翌日の火曜日（10月14日、11月4日・25日、1月13日）は休館

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社 特別協力：Van Cleef & Arpels

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ 年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーグ Bloomberg、Van Cleef & Arpels

Exhibition period: Sat, September 27, 2025–Sun, January 18, 2026 Hours: 10AM–6PM (Last admission at 5:30PM)

November 21, 22, 28, 29, December 5, 6 open until 8PM (Last admission at 7:30PM)

Closed: Mondays (except October 13, November 3, 24, January 12), during the New Year's Holidays (December 28–January 4) and October 14, November 4, 25, January 13

《絡み合う花々、赤と白のローズ フレスレット》1924年 プラチナ、オニキス、ルビー、エメラルド、イエローダイヤモンド、ホワイต์ダイヤモンド ヴァン クリーフ & アーペル



日時指定
予約制

Timed Entry
System



TOKYO
METROPOLITAN
TEIEN ART
MUSEUM

展覧会概要

ハイジュエリー メゾン、ヴァン クリーフ&アーペルは、1895年にアルフレッド・ヴァン クリーフとエステル・アーペルの結婚をきっかけに創立されました。1906年、パリのヴァンドーム広場22番地に最初のブティックを構えて以来、詩情あふれるデザインと革新的な技巧で高い評価を得ています。

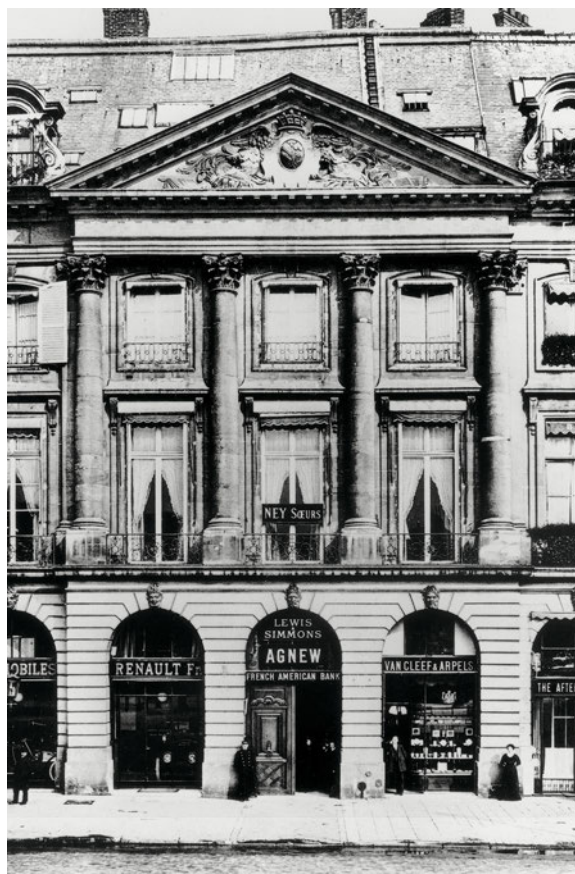
本展は、1925年に開催された「現代装飾美術・産業美術国際博覧会（通称 アール・デコ博覧会）」から100周年を迎えることを記念した展覧会です。ヴァン クリーフ&アーペルはアール・デコ博覧会の宝飾部門において複数の作品を出品し、グランプリを受賞しました。そのひとつが、本展に出品される《絡み合う花々、赤と白のローズ プレスレット》（1924年）です。花から着想を得たこの作品は、メゾンがアール・デコ期に抱いていたビジョンを読み解く重要な鍵といえるでしょう。アール・デコは1910年代から装飾芸術や建築の分野で起こっていた芸術潮流であり、その精華を受け継ぐ旧朝香宮邸（現・東京都庭園美術館）が、本展の舞台となっています。

本展では、歴史的価値が認められた作品からなるヴァン クリーフ&アーペルの「パトリモニー コレクション」と、個人蔵の作品から厳選されたジュエリー、時計、工芸品を約250点、さらにメゾンのアーカイブから約60点の資料を展示します。本館では、1910年代から1930年代にかけて制作されたアール・デコ期の作品を多数展示し、また新館では、現在まで継承され続ける「サヴォアフェール（匠の技）」をご紹介します。

アール・デコ博覧会100周年を記念する祝祭的な本展は、この芸術潮流の多様な側面と、それらがメゾンのジュエリーに与えた影響を新たに発見する機会となるでしょう。



絡み合う花々、赤と白のローズ プレスレット 1924年



パリ、ヴァンドーム広場22番地に創業したヴァン クリーフ&アーペル
最初のブティック 1906年 Van Cleef & Arpels Archives

東京都庭園美術館(旧朝香宮邸)について

東京都庭園美術館は1933年に朝香宮邸として建てられた建物を、そのまま美術館として公開したものです。戦後の一時期、外務大臣・首相公邸、国の迎賓館などとして使われてきましたが、建設から半世紀後の1983年、美術館として新しく生まれかわりました。

都心の閑静な環境にある本館は、1910年代から30年代にかけてフランスを中心にヨーロッパを席卷したアール・デコ様式を現代に伝えています。

施主である朝香宮夫妻は1922年から約3年間に渡りパリに滞在し、1925年のアール・デコ博覧会を訪れています。帰国後、自邸を建設するにあたり、主要な部屋の設計を博覧会の主要パヴィリオンの室内装飾を手掛けた装飾美術家のアンリ・ラパン(1873-1939)に依頼し、その装飾にはガラス工芸家のルネ・ラリック(1860-1945)をはじめとしたアーティストを多数起用するなど、アール・デコの精華を積極的に取り入れました。

現在も竣工時の建築意匠がほぼ完全な形で残っており、当時のアール・デコの時代空間そのものを体感できる希少な建築といえるでしょう。



東京都庭園美術館 本館 大客室



東京都庭園美術館 本館 正面外観

ヴァン クリーフ&アーペルについて

アルフレッド・ヴァン クリーフとエスター(通称エステル)・アーペルの結婚をきっかけとして、1906年、ヴァン クリーフ&アーペルはパリのヴァンドーム広場22番地に創業しました。以来、自然やクチュール、ダンス、空想の世界からインスピレーションを得たハイジュエリーと時計を手掛けるメゾンとして、詩情あふれる独自のスタイルを育んでいます。創造性と卓越性を追求する中で、メゾンを代表する「サヴォアフェール」のひとつであるミステリーセット技法が生まれ、またジップ ネックレスやアルハンブラ モチーフなど多くの作品を通して、魔法のように人を魅了するメゾンの世界観が表現されています。

1970年代、ジャック・アーペルは未来の世代にメゾンの作品を残すため、ヴァン クリーフ&アーペルのスタイルを象徴する過去の作品を再購入してメゾンの手元に置きはじめます。この「パトリモニー コレクション」に所蔵されたハイジュエリー、ジュエリー、時計、工芸品の作品数は、現在3,000点を超えました。1906年から2000年代まで、各時代の職人が手仕事で仕上げたこれらの作品をみることで、ヴァン クリーフ&アーペルのスタイルやインスピレーションの進化、そして専門技術の発展を辿ることができます。1992年、パリにおいて初めて大規模な展覧会が開催されて以来、主要な美術館や文化施設、およびヴァン クリーフ&アーペルのブティックにおいてこのコレクションが一般公開されています。こうした展覧会は、メゾンの作品がジュエリーの歴史の一部であること、そしてフランスの豊かな装飾芸術にどのような役割を果たしてきたかを示す機会となっています。

Chapter 1

Emergence of an Art Deco Aesthetic

アール・デコの萌芽

第1章では、アール・デコ博覧会グランプリ受賞作品を含む、アール・デコ期に制作されたハイジュエリーの数々をご紹介します。

バラはアール・デコ期において象徴的なモチーフの一つである。《絡み合う花々、赤と白のローズ ブレスレット》では赤と白のバラが、《ローズ ブローチ》では一輪のバラが表現され、つぼみや葉、棘といった要素も巧みに組み込まれている。これらの作品は、自然のモチーフを幾何学的に様式化する、アール・デコの美学を体現している。ヴァンクリーフ&アーベルは《絡み合う花々、赤と白のローズ ブレスレット》をはじめとするハイジュエリーにより、1925年のアール・デコ博覧会でグランプリを受賞した。

1. 絡み合う花々、赤と白のローズ ブレスレット 1924年
2. ローズ ブローチ 1925年

東洋のイメージに着想を得た、色彩豊かな宝石があしらわれたロングネックレス。幾何学模様と生け花を想起させるモチーフが調和し、東洋の精神性とアール・デコの様式美が融合した作品である。ペンダント部分を取り外してチェーン単体でも着用できるよう装飾が施されている。

3. ロングネックレス 1924年



1



2



3

Chapter 2

Evolution towards a Singular Style

独自のスタイルへの発展

第2章では、ダイヤモンドやプラチナが巧みにあしらわれたホワイต์ジュエリーを中心に、1920年代以降ヴァン クリーフ & アーペルが追い求めた立体感のある新たな造形的展開をご紹介します。

1920年代末に制作されたコルレット ネックレス。ネックラインには壮麗なダイヤモンドがあしらわれており、鮮やかなエメラルドは総計165カラットにもおよぶ。1935年のブリュッセル万国博覧会ではフランス館に展示され、大きな注目を集めた。立体感と素材の多様性を追求したこの作品は、大胆さと洗練を兼ね備えたスタイルとして、今日もお輝きを放っている。

4. コルレット 1929年



4

幾何学的な八角形を中心に、純潔の象徴でもあるユリのモチーフが様式化され、左右対称に配されたブローチ。この構成は、秩序と幾何学を重視するアール・デコの美学を体現するものである。バックルベルトから着想を得たデザインは、チョーカーやブレスレットとしても使用可能な多用途性を備え、連結部の精巧な技により、身体の曲線にしなやかに寄り添う着け心地を実現している。

5. ブローチ 1927年



5

Chapter 3

Modernism and Functionality

モダニズムと機能性

第3章では、社会の変化に応じてヴァン クリーフ & アーペルが制作した抽象的かつ幾何学的造形と機能性を備えた、モダニズムの魅力を伝える多様な作品をご紹介します。

1933年に特許を取得した「ミノディエール」とは、鏡をはじめ、女性が外出時に必要となる、口紅、パウダーコンパクト、ライター、ノートなどを収めるケースのこと。パーティバッグにしのばせたり、そのままクラッチとして持つこともできる。本作品はさらにカメラ（椿）の部分を取り外してブローチとして着用することもできる。洗練された美しいデザインと高い機能性を追求したミノディエールは、ヴァン クリーフ & アーペルを象徴する作品の一つとなっている。

6. カメラ ミノディエール 1938年



「南京錠」を意味する「カデナ」をかたどったリストウォッチ。大胆かつモダンなリストウォッチは、1935年に誕生して以来、メゾンを代表するコレクションとして人気を博している。文字盤がわずかに傾き、一見ブレスレットのようにも見えるデザインは、女性が公の場で時刻を確認するべきではないと考えられていた時代、さりげなく時刻を確認することができるようにと工夫された。

7. カデナ リストウォッチ 1943年



Chapter 4

Garden of Savoir-faire

サヴォアフェールが紡ぐ庭

第4章となる新館では、ヴァン クリーフ&アーペルに現代まで継承され続けている

「サヴォアフェール(匠の技)」の数々を5つのセクションに分けてご紹介します。

メゾンが愛する草花や動物をモチーフとしたジュエリーが織りなす、5つの庭園を巡る体験をぜひお楽しみください。

躍動的に咲く菊の花をかたどったクリップ。華やかなルビーの花びらは内側へとカーブを描き、菊の花のもつ複雑さと繊細さを表している。ヴァン クリーフ&アーペルが1933年に特許を取得した、石を留める爪を表に見せずに宝石の滑らかな質感を実現する「ミステリーセット」と呼ばれる宝飾技法が用いられている。本作品は1937年にパリで開催された「現代生活における芸術と技術の国際博覧会」に出品され高い評価を得た。19世紀以降、フランスは日本の芸術に強い影響を受け、菊も繰り返し用いられたモチーフの一つである。

8. クリサンセмум クリップ 1937年



8

「ジップ ネックレス」は、その創造性においてひとときわ光彩を放っている。房飾りのついたタッセルをスライドさせてジップを閉じるだけで、ネックレスからブレスレットへと変容するこのデザインは、もともとは服飾業界で用いられたジッパーから着想を得たもので、ヴァン クリーフ & アーペルの作品におけるファッションからの影響を裏付けている。本デザインは1938年に特許が取得され、1950年に実際のジュエリー作品として誕生した。

9. シャンティイ ジップ ネックレス 1952年



9

会場構成

西澤徹夫建築事務所

西澤徹夫 | Tezzo Nishizawa

1974年生まれ。2000年東京藝術大学建築専攻修士課程修了。2000-2005年青木淳建築計画事務所、2007年西澤徹夫建築事務所設立。「京都市京セラ美術館」(2019年)、「八戸市美術館」(2021年)など、美術館・文化施設の設計に多くかかわる。

協力: 成定由香沙、佐藤熊弥(tandem)

関連プログラム

トークプログラム

本展の開催を記念して、〈レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校〉の講師によるトークプログラムを美術館(新館ギャラリー2)で開催いたします。

[第1回「アール・デコの世界」]

2025年11月9日(日) 14:00-15:30

定員60名(無料/申込期間:9月16日-10月14日・応募多数の場合抽選)

[第2回「アール・デコにおける素材の探求」]

2025年12月7日(日) 14:00-15:30

定員60名(無料/申込期間:10月15日-11月14日・応募多数の場合抽選)

フラットデー

東京都庭園美術館は、あらゆる方にとって居心地の良い場となることを目指し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境づくりに取り組みます。フラットデーは入場制限を行うため、ゆとりある環境で展覧会をお楽しみいただけます。

[ゆったり鑑賞日]

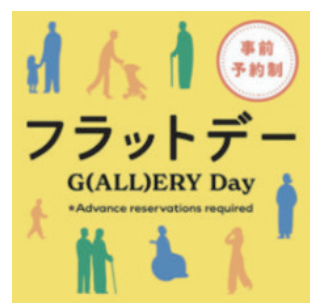
多くの人で賑わう美術館に不安がある方も、普段よりもゆとりある環境で鑑賞できる一日です。車椅子の方や介助等が必要な方も安心してお過ごしいただけます。

2025年10月22日(水) 10:00-18:00(最終入館 17:30)

[ベビーアワー]

赤ちゃんと暮らすご家族のみなさんに気兼ねなく展覧会をご覧いただける時間です。普段はベビーカーを使うことができない本館もベビーカーのままご入館いただけます。

2025年11月5日(水) 10:00-15:00(本館内でベビーカーを利用できる時間)





日時指定
予約制

Timed Entry
System

本展は日時指定予約制です。

ご来館前に展覧会特設サイトよりチケットをご購入ください。

Timeless Art Deco with Van Cleef & Arpels High Jewelry

とわ
永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル
—ハイジュエリーが語るアール・デコ

会期：2025年9月27日(土)－2026年1月18日(日)

開館時間：10:00－18:00(入館は閉館の30分前まで)

※11月21日(金)、22日(土)、28日(金)、29日(土)、12月5日(金)、6日(土)は夜間開館のため20:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日：毎週月曜日および年末年始(12月28日－1月4日)

※祝日の月曜日(10月13日、11月3日、24日、1月12日)は開館、翌日の火曜日(10月14日、11月4日、25日、1月13日)は休館

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社

特別協力：ヴァン クリーフ&アーペル

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

年間協賛：戸田建設株式会社、ブルームバーグ、ヴァン クリーフ&アーペル

観覧料

一般：¥1,400

大学生(専修・各種専門学校含む)：¥1,120

高校生・65歳以上：¥700

中学生以下は無料(予約不要)／身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料(予約不要)／教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(事前申請が必要)／第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料(予約不要)

※10月22日(水)・11月5日(水)はフラットデー開催日のため通常よりも入場者数を制限いたします。

東京都庭園美術館

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9

お問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

URL: www.teien-art-museum.ne.jp

SNS: @teienartmuseum

アクセス：〔目黒駅〕JR山手線 東口／東急目黒線 正面口より徒歩7分

〔白金台駅〕都営三田線／東京メトロ南北線 1番出口より徒歩6分

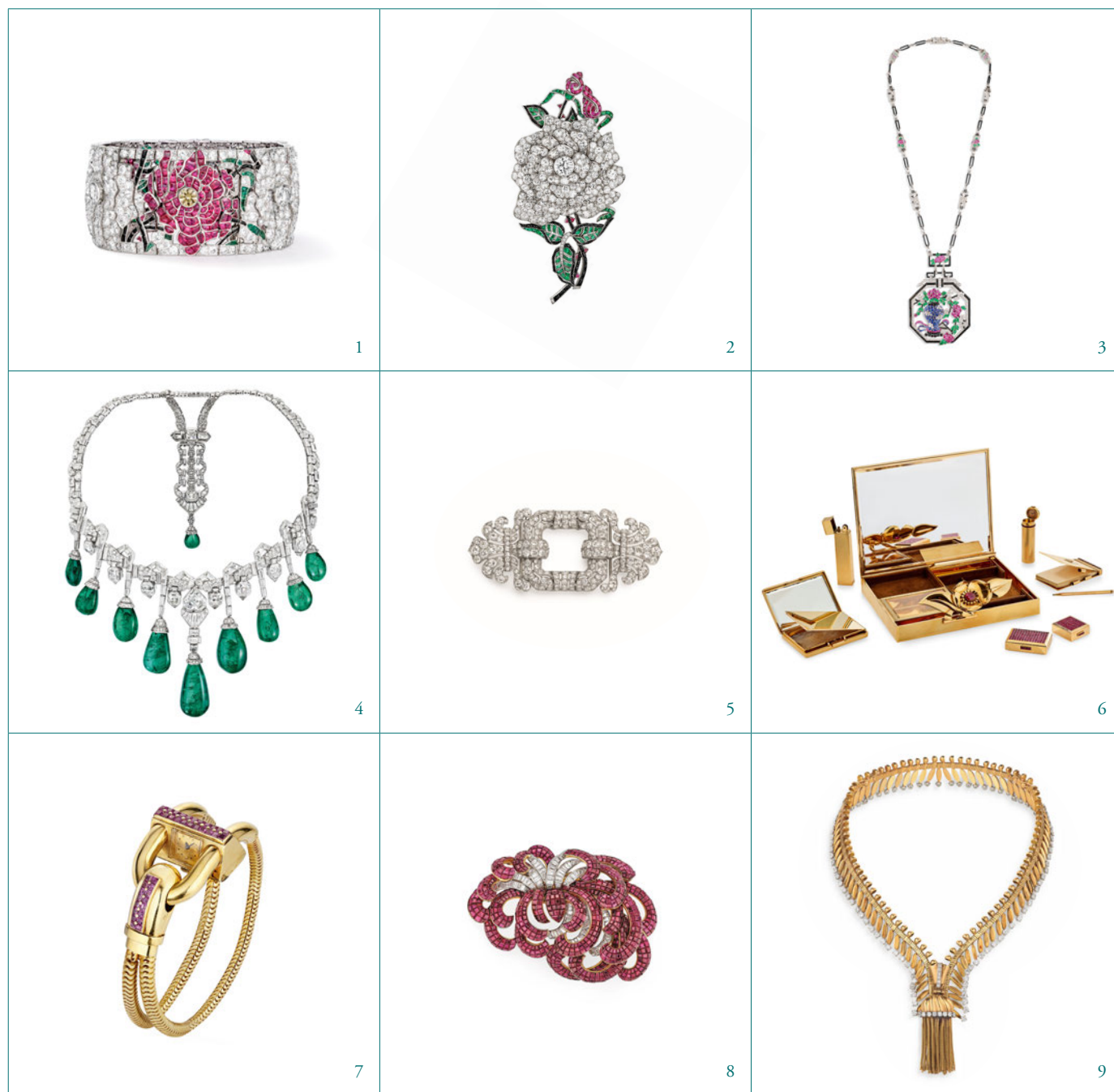


最新情報および詳細は展覧会特設サイト及び公式Xにてご確認ください。

公式X：@ArtDeco2025_26

展覧会特設サイト：<https://art.nikkei.com/timeless-art-deco/>

広報用画像



1. 絡み合う花々、赤と白のローズ プレスレット 1924年 プラチナ、エメラルド、ルビー、オニキス、イエローダイヤモンド、ダイヤモンド/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
2. ローズ ブローチ 1925年 プラチナ、エメラルド、ルビー、オニキス、ダイヤモンド/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
3. ロングネックレス 1924年 プラチナ、エメラルド、ルビー、サファイア、オニキス、エナメル、ダイヤモンド/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
4. コルレット 1929年 プラチナ、エメラルド、ダイヤモンド エジプトのファイザー王女旧蔵/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
5. ブローチ 1927年 プラチナ、ダイヤモンド/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
6. カメリア ミノディエール 1938年 イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、ルビー/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
7. カデナ リストウォッチ 1943年 イエローゴールド、ルビー/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
8. クリサンセマム クリップ 1937年 プラチナ、イエローゴールド、ミステリーセット ルビー、ダイヤモンド/ヴァン クリーフ&アーベル コレクション
9. シャンティイ ジップ ネックレス 1952年 イエローゴールド、プラチナ、ダイヤモンド/ヴァンクリーフ&アーベル コレクション

画像はすべて ©Van Cleef & Arpels

■本件に関するプレスお問合せ

「永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーベル ― ハイジュエリーが語るアール・デコ」広報事務局(共同PR内)

Mail: vca2025-pr@kyodo-pr.co.jp Tel: 03-6264-2382(土曜・日曜・祝日を除く平日のみ、10:00-16:00)